

若林区七郷地区民生委員児童委員協議会

(平成 25 年 6 月 21 日掲載)

七郷地区は仙台市の東に位置し、国道 4 号線を境に太平洋までの広い地域を担当しています。仙台市の田園都市構想の中核的な存在です。地区の人口は 2 万 4 千人を超え、民生委員・児童委員 23 名（うち主任児童委員 2 名）でこの地区を担当しています。大震災では 190 名の尊い命が大津波により失われました。

本年 3 月には連合町内会の力添えもあり、慰霊塔や観音像を建立し、三回忌の法要が行われ、多くの参列者が訪れました。地区には被災者のための仮設住宅が 6 か所、さらに民間借り上げ住宅と合わせて 1,900 名の方々が不自由な生活をしています。

民生委員・児童委員も例外ではなく、23 名中 19 名が被災しています。うち 3 名は大津波により自宅が流失し全壊となりました。私たちは困難にもめげず、被災者に寄り添い、仮設住宅訪問、声掛けを中心にサロン活動等を展開していますが、今のところ孤独死がないのでほっとしています。

連合町内会、社協、地域包括支援センターや行政とも連携し協働を図っています。12 ブロックに分かれている七郷地区には、サロンが 15 グループあり、ブロック長を務めている民生委員・児童委員がこのサロン活動の企画、運営に携わっています。特に仮設住宅は高齢者が多く、自分の担当区割りを超えて支援をしているので、皆に大変な苦勞をかけていると推察しています。

七郷地区には仮設住宅が 7 か所あり、委員が 2～3 名 1 組となり見守り、訪問活動を行なっています。震災以前より連携していた福祉委員とも協力して活動しています。仮設住宅では、民生委員・児童委員のほかに、区の保健師、地域包括支援センター職員、NPO、ボランティア等も訪問活動を行なっており、時折、住民からは訪問が多くて困る、家でゆっくり休めない、という声も聞かれます。

また、去年は社協、町内会との協働で被災者対象の「出前歌謡ショー」を開催し、好評を得ました。仮設住宅でサロン活動を行なっていますが、借り上げ住宅等に避難している方向けに企画しました。地区に 3 か所あるコミュニティセンター等で開催し、1 回に 80 名ほどの住民が参加しました。以前同じ町内に住んでいた方との再会の場ともなり、企画終了後も雑談が絶えない様子です。今後も被災した住民のため、笑顔を作り出す企画を考えています。

終わりにあたり、全国の方々から寄せられた温かいご支援にあらためて感謝申し上げます。